

横浜南共済病院 循環器内科は 心房細動・不整脈アブレーションを 積極的に実施しています！

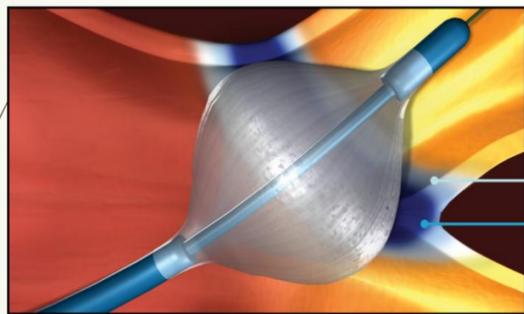
循環器内科では、心房細動を含む、頻脈性不整脈に対するアブレーションを年間200例以上に実施しています。

アブレーション手術は、外科的手術とは異なり、患者様の負担が少ない治療法です。入院期間は3泊4日、術後早期に普段の生活に戻ることができます*。

*手術に伴う合併症がない場合

心房細動アブレーションは、患者様の病状などを考慮し、クライオバルーンか高周波のいずれかの方法で治療します。

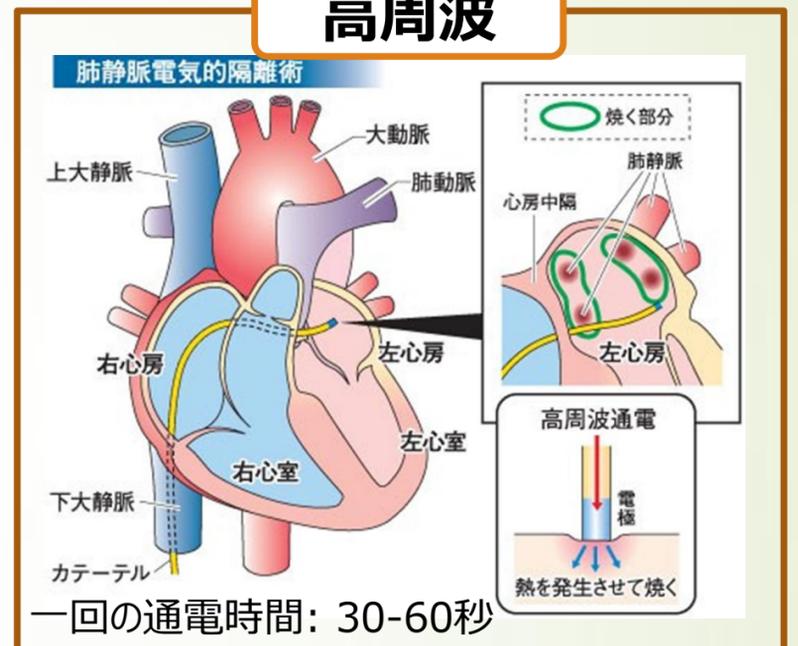
クライオ(冷凍)バルーン



Hypothermic Zone
Ablation Zone (sub-zero)

一回の冷却時間: 120-180秒

高周波

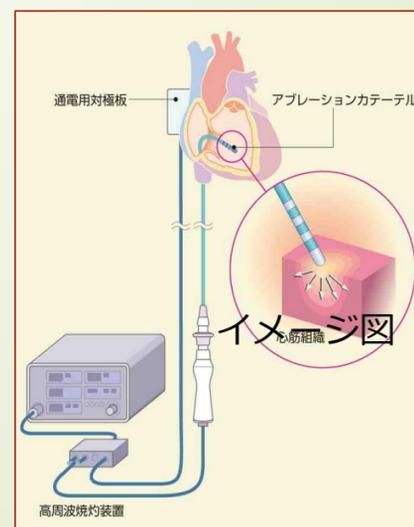


一回の通電時間: 30-60秒

心房細動アブレーションは、症状緩和、心不全・脳梗塞発症予防など様々な有効性が報告されています。

頻脈性上室性頻拍は高周波カテーテルアブレーションにより、根治率は90%以上あり、不整脈の悩みから解放される可能性が高い手術です。

アブレーション手術希望の患者様、不整脈でお困りの患者様を、心房細動（不整脈）外来にご紹介ください。



心房細動（不整脈）外来担当医師

循環器内科総括部長 鈴木誠

医学博士 循環器専門医 不整脈専門医

過去 3000例以上のアブレーション

2000例以上のデバイス植え込みを経験

